

利根川の事について

五年 蟠原 美羽

私は、今回この作文を書く事にな。こ、お母さんやお父さんに色々な話を聞いて、今まひ利根川について知らない事がたくさんあった事に気付かされました。

せ。かくの夏休みなので、図書館で利根川の事が書いてある本を読んだり、お母さんの友達に話を聞いたりして、色々調べてみる事にしました。

筑後次郎と呼ばれる筑後川、四国三郎と呼ばれる吉野川とともに、坂東太郎とも呼ばれる利根川。群馬県から流れ始まり、海まで三百キロメートル以上も流れる長い川である事など、自分の家の近くを流れている川なのに知らない事ばかりで、とてもおどろきました。利根川の上流と下流では、動物や植物に色々な違いがあります。上流の群馬県の方ではイワナやアユがいて、源流近くの山にはツキノワグマも住んでいる事におどろきました。

中流にゐるオイカワやソウギョなどの魚や、カヅコウやハクチョウなどは、私の家の近くにある菅生沼にも来ているそうです。下流では、海水と混ざる所でマハゼやスズキのようば魚がいたり、ヨシという植物の中に住むオヨシキリやコジヨリンという鳥などが、住み分けてゐる事も知りました。

また、江戸時代には物や人も船で運ぶ水運が発達した事で、川ぞいで商業や産業が栄えに代りました。農業用水としても、田畑に豊

かな作物をもたうしてくれた事が良く分かりました。お父さんやお母さん、その友達も魚つりやバードキューを楽しんでいるそうです。

しかし、良い事はかりではありません。昔から台風や洪水に何度もあい、大きな被害を受けたり、川の流水を変えて一生けん命守るきくしたり、川の流水を変えて一生けん命守る全に努めてくれた事も知りました。

これからも、私達の近くの自然の事を調べたいと思います。